

自治会 東三丁目 山王三丁目
自治会 四丁目 山王三丁目
町会 三丁目 山王三丁目
町会 一丁目 山王三丁目
町会 四丁目 山王三丁目
町会 五丁目 山王三丁目
町会 六丁目 山王三丁目
町会 七丁目 山王三丁目
..... 共同編集

わがまち **Araijuku**
新井宿



〈入新井町史の15〉

大森駅から間坂を通過って馬込にぬける道の、もう一つ左手、保育園の横の急な坂を上って、くねくねした細い道を下ると、左側に弁天池があります。春には桜、夏には木陰、町のいこいの場として親しまれています。

昭和の初期、弁天池の写真です。自然の力をそのまま捉え、ある時はゆつくり、ある時は激しく、一夜の風と雨でその池の姿を変えてしまうような、またそんなエネルギーを秘めた風景でした。

弁天池

昔、このあたりは木原山の山裾にあたり、この池も自然の湧き水を豊かにたたえ、飲み水としても使われていたそうです。今でも池の奥の、花清水公園には、祠があつて、御神水、弁天池源泉とかかれています。市街地になつてしまつた現在ではとても飲み水としては適しません。

池の中の島に厳島神社が建てられていますが、創建の年代、由緒などは不明です。明治時代の測量地図には神社の記載がみられないので、およそ大正時代後半に社殿ができたのではないかと考えられます。水の神である弁天が祀られていて、このあたりの田畑を潤す豊富な湧き水の涸れることのないように祈念したのでしよう。弁天池の名の由来も、弁天がまつられている池といふことだけ、これです。



▶現在の厳島神社

大正十二年、関東大震災後、被害の少なかつた馬込の農村地帯に、新しい家が建築されるようになり、尾崎士郎、宇野千代などが中心となつて、多くの文士たちが、このあたりに住居を構えるようになり、馬込文士村が形成されました。弁天池周辺にも、室伏高信 室生犀星 柳山潤 藤浦洸といった多彩な面々が集い、彼等の人生の一時代を送つていたので。弁天池もきつとその心象風景の一つとして影をとめていたに違ひありません。



◆藤まつり

新井宿六丁目町会

観音会では四月二十九日、藤まつりを行いました。観音堂の藤は、有志の方の手入れによつて今年も見事な花をつけ、集まつた方々に、串だんごと手作



りのいなりずしがふるまわれました。藤棚に咲く美しい藤を愛でながらのひとときに、ホッと心の安らぎを覚えました。

新井宿自治連合会総会の開催

六月三日に開催された総会で平成十年度の事業・決算・監査報告を承認し、平成十一年度の予算を決定しました。

総会後に開かれた懇親会では、

退任会長及び自治会・町会役員永年在職者に対して西野大田区长から、退任副会長に対して矢花連合会長から、感謝状が贈呈されました。

受章者は下記のとおりです。

〈退任会長〉 車田 昌一
〈退任副会長〉 田中 庄一郎

〈役員永年在職者〉

服部 錦朋	竹内 眞治
芝崎 敏雄	新田長太郎
金井藤四郎	福澤 好郎
富田 記佳	
碓井 富世	荒井 壽子
小島 葉子	齋藤 順治
磯部 紘志	濱 隆夫
阿部 肇子	豊田 正一
小林 利男	吉澤美紀子
溝口しげ子	松原美枝子
佐藤 武夫	車田 芳康

(敬称略)

◆山王三番街 新アーケード完成

昭和三十年代、池上通りの商店街は、柳本通りと呼ばれ親しまれ、個々の店も夜十時頃迄営業するなど、商店街として栄光の道をたどっていました。今ある地元の大型店も、その中から育つていきました。そんなエネルギーギッシュな時代に、去年迄あつたアーケードは建てられたのです。私達には、町に対する感謝と誇りがありました。が、それでもさびれていく町や商店街を肌で感じざるを得ませんでした。長引く不況の中、「アーケード新築など非常識！」という時代の常識をくつがえしての「新アーケード完成、バンザイ!!」



山王三丁目商店街振興組合
理事長 関 孝文

◆春日橋児童公園新設

大森北五丁目の工場跡地にできた新しい高層マンションの横に、小さな公園がデビューしました。シンプルですがモクセイやユズリハの若木も、花壇も、これから地域の皆さんと共に成長していきます。散歩の休憩場所として、また新しい交流場所としてもご利用ください。

編集後記

夏休みに入り各ご家庭ではどの様にお過ごしですか。

一面で取り上げました弁天池付近にも四季折々の風情が感じられます。休みに親子で一度散策されてみてはいかがですか。二・三回は管内の保健福祉施設についてご紹介しました。お忙しい中取材にご協力頂きました区職員、各施設の皆様にお礼申し上げます。

私達の《町の風》に皆様の声をお寄せください。

(市村編集委員)

発行 わがまち大田新井宿地区推進委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会
監修 新井宿地区自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央四一三二一四
三三七六一五三九一

保健福祉施設

4月1日発行の第17号でご紹介致しましたように、大森保健福祉センターが大田区分庁舎に移転(3月)、新井宿福祉園が旧保健福祉部庁舎に開設(4月)、さわやかワークセンターが旧大森保健福祉センター新井宿庁舎(旧大森保健所)に移転(5月)しました。わがまちの保健福祉施設として活用し、親しんでまいりたいと思います。それぞれの責任者の方にお話を伺いましたのでお知らせします。



新井宿福祉園

大田区立新井宿福祉園(社会福祉法人大田幸陽会運営)が、四月開設しました。六日の入園・開所式には、入園生、家族、地元関係者、行政担当者が多数出席して、新しい施設の誕生を祝いました。ここは十八歳以上の知的障害者(一部身体障害者重複)のための通所更生施設です。定員は四十名ですが今年度は暫定二十名の園生が通っています。建物内部は広い廊下、緩やかな階段、身長に合わせた二段の手すり、シャワー室横にはトイレと着替え用の畳、間仕切りレールの段差を無くした床面等、利用者の安全や負担を無くす思いやりが工夫されています。また、送迎バスには車椅子に乗ったまま移動が可能になり



車いすに乗ったまま移動が可能送迎バス



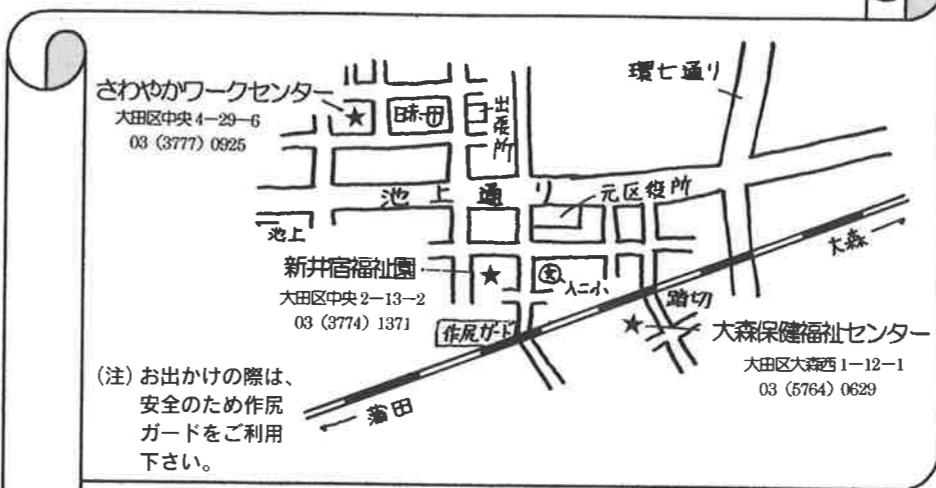
トが設置されています。バスの発着する園庭のスペースも広く、ここは、将来的に地域の皆様との交流の場としての利用方法も考えています。園の方達が街や公園を散歩されている姿をよく見かけます。その方達が普通に商店で買い物したり、気軽に喫茶など飲んだりする事がごく自然に出来る様、暖かく迎え入れ、共にこの町で暮らしたいと願います。

施設長さんはおつやいました。「園生の新しい心の宿(=新井宿)として東京で一番を目指しています。」

▼身長に合わせた二段の手すり



わがまち『新井宿』の



(注) お出かけの際は、安全のため作尻ガードをご利用下さい。

大森保健福祉センター

JR線路の脇に位置する場所にあり、情報処理室を除き、本庁舎移転に伴って、保健部門・福祉部門が一体になり、素晴らしい施設となりましたので御紹介致します。

一階は、時には赤ちゃんのBCG、健康診査でにぎわいます。レントゲン室には、区の施設で初めての、すぐモニターで見ることが出来るFCRという機械があります。日時によって歯科相談、親子のふれあいの場、アルコール依存症、知的障害者の相談等、又地域の方に利用していただくホールもあります。

二階は、センター全体の事務室で相談・申請の受付窓口があります。

三階は、糖尿病・高血圧症・離乳食等の相談や講習会のできる



る講堂があります。メニューとカロリー量が一目でわかるサンプルも展示され、仕切りを開きますと、そこには調理室があり、実際に作って講習して下さいます。

四・五階は、大田区役所の情報システムセンター等です。

六階は、衛生検査所があり、いろいろな細菌検査、化学検査、環境検査等を行っています。身近な場所でのこのような業務が行われています。

さわやかワークセンター

大田区南馬込にありました離職障害者就労対策事業「さわやかワークセンター(社会福祉法人大田幸陽会運営)」が、五月わがまち新井宿に引越してきました。平成六年四月から、区の援助を受けて始められた大田区唯一のこの事業は、離職した知的障害者を、再び地域の中で仕事ができるように、面接や実習訓練を通じて就職の援助をしています。ワークセンターと家族との連携プレーが、最も大切です。

職員の方々のすばらしいご指導により、入所者自身が、自分を認めてもらう事で、自信をつけ人間性の回復が出来、かくれた能力が引き出され、職業生活に適応する人となります。そして又、企業や地域の皆様の深いご理解を必要とします。平成六年から五年間の間に、三十一名が入所され十四名の方々が再就職されました。



〈事業内容〉

- ・ 区立公園、区立障害者会館、都立養護学校等の清掃
- ・ 簡単な機械部品の組み立て
- ・ リサイクル廃油回収作業
- ・ 生活訓練、再就職の援助活動など

